

平成30年1月23日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

日本原子力研究開発機構と仏国原子力・代替エネルギー庁との「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」の合意について（お知らせ）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構は、高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）の廃止措置にあたり、国内外の英知を結集して取り組むための活動の一環として、これまで仏国原子力・代替エネルギー庁との間で実施してきた廃止措置に関する協力の対象施設を拡大して、「もんじゅ」に関する協力を可能にするとともに、平成30年1月18日付けで「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」を合意しましたので、お知らせします。

今後、「もんじゅ」と高速原型炉「フェニックス」間での駐在員の派遣・交換やナトリウム冷却高速炉の廃止措置分野で先行している仏国の技術者の招へいを通じて、その知見を「もんじゅ」の廃止措置に活かしていきたいと考えています。

（添付資料）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構と仏国原子力・代替エネルギー庁との「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」の合意についての主な概要

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構と仏国原子力・代替エネルギー庁との
「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」の合意につい
ての主な概要

「もんじゅ」の廃止措置については、国内外の英知を結集して取り組むこととされており、その活動の一環として、仏国が高速原型炉「フェニックス」（以下「フェニックス」という。）の廃止措置を実施する中で培ってきた知見を活用する観点から、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）は仏国原子力・代替エネルギー庁（以下「CEA」という。）との間で人員派遣を通じた協力の実施に向けた調整を進め、この度、標記取決めに双方が合意したことから取決め書の交換を行った。

JAEAとCEAは、「原子力研究開発分野における協力のためのフレームワーク取決め」の下で特定協力課題を定め、これまで各分野で様々な協力を行ってきており、「もんじゅ」、「フェニックス」間においても、運転経験に関する特定協力課題に基づき、人員派遣取決めを取り交わし、駐在員の相互派遣等の協力を行ってきた。

平成29年12月にJAEA東京事務所で開催した「JAEA-CEA二機関会合」で、これまで実施してきた特定協力課題の一つである廃止措置分野における協力の枠組みの対象施設を、「もんじゅ」等のJAEAで新たに廃止措置フェーズに移行することになった施設を含むよう拡大すること、CEAで廃止措置段階にある「フェニックス」と「もんじゅ」との間で廃止措置における協力を実施していくことに合意した。

これを受け、特定協力課題を定める文書の改定を行うとともに、「もんじゅ」と「フェニックス」間で人員の派遣を可能とする「人員派遣取決め」の署名、交換について調整を進めてきた。

平成30年1月17日、JAEAは「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」について仏国アヴィニョンで会合を持ち、翌18日に、仏国「フェニックス」内で同取決め書のCEA側の署名を終え、交換手続を完了した。

今後、「もんじゅ」－「フェニックス」間での駐在員の派遣・交換やナトリウム冷却高速炉の廃止措置分野で先行している仏国の技術者の招へいを通じて、その知見を「もんじゅ」の廃止措置に活かしていきたいと考えている。

【用語説明】

1) 原子力研究開発分野における協力のためのフレームワーク取決め

平成 17 年 10 月 1 日に日本原子力研究所(原研)及び核燃料サイクル開発機構(サイクル機構)の旧二法人が統合し、日本原子力研究開発機構(JAEA)が発足したことを受けて、旧二法人がCEAとの間でそれぞれ署名していた協力取決めを一本化し、平成 17 年 12 月 13 日に当時のJAEA岡崎副理事長とCEAビュガ長官の間で、新たなフレームワーク取決めとして署名された。平成 22 年と平成 27 年にそれぞれ延長手続が行われ、現在までこのフレームワーク取決めの下、両機関は原子力の広範な分野で協力を実施してきた。

協力実施に当たっては両機関で特定協力課題等を定めることとしており、また両機関が職員を派遣する場合は「人員派遣取決め」を取り交わすこととしている。

原子力施設の廃止措置分野について今まで両機関は特定協力課題に定めた施設、例えば敦賀拠点ではふげんの廃止措置に関して協力してきたが、この特定協力課題の廃止措置に関する協力の対象施設を拡大して、「もんじゅ」の廃止措置に関する協力も行っていくこととした。

2) JAEA-CEA二機関会合

両機関の間で、協力の現状と今後の計画について議論し、調整する会議で、毎年 1 回、日仏交互に開催している。平成 29 年 12 月 20 日に第 12 回目の会議がJAEA東京事務所で開催された。

3) 高速原型炉「フェニックス」

「もんじゅ」と同様のナトリウム冷却高速増殖炉の原型炉。仏国南部のCEAマルクールサイトに位置し、昭和 49 年に運転を開始、平成 22 年に最終的に運転を終了した。平成 28 年 6 月に廃止措置計画の認可を受けている。

「もんじゅ」と「フェニックス」は平成 22 年度まで駐在員の交換を実施してきたが、その後の「もんじゅ」の再起動後の停止及び「フェニックス」の運転終了に伴い、最近は駐在員の交換が途絶えていた。

4) ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め

協力活動を実施するため、他方の機関に職員を派遣する際の諸条件を定める取決め。今回、「もんじゅ」と「フェニックス」間で駐在員の派遣が出来るよう、新たに「ナトリウム冷却高速炉の廃止措置協力活動における人員派遣取決め」の署名、交換を行った。

以上